



2021年5月14日

各位

会社名 高千穂交易株式会社
 代表者名 代表取締役社長 井出尊信
 (コード番号 2676)
 問合せ先 管理部長 岩本昌也

通期業績予想と実績の差異、剰余金の配当(期末配当)、ならびに中期経営計画の見直しに関するお知らせ

当社は、2020年11月6日に公表いたしました2021年3月期の通期連結業績予想と実績値に差異が生じたこと、剰余金の配当(期末配当)の実施、ならびに2022年3月期を最終年度とする中期経営計画の数値目標を修正することを、2021年5月14日開催の取締役会において決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想と実績の差異について

(1) 2021年3月期連結業績予想と実績の差異(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり当 期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	20,100	750	700	390	43.79
実績値 (B)	20,591	886	926	548	61.56
増減額 (B-A)	+491	+136	+226	+158	+17.77
増減率 (%)	+2.4	+18.2	+32.3	+40.6	+40.6
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	20,616	788	885	190	21.40

(2) 差異の理由

当期におきまして、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるテレワーク需要の高まりを受け、リモートアクセス商品、及び通信端末・半導体製造装置向けデバイスの販売が増加し、また、携帯キャリア向け大型案件の販売が好調でした。加えて、為替が円安に推移し期末の評価益を計上したこと等から2021年3月期の通期連結業績予想値から増益となりました。

2. 剰余金の配当(期末配当)について

(1) 配当の内容

	決定額(期末)	直近の配当予想	前期実績
基準日	2021年3月31日	同左	2020年3月31日
1株当たり配当金	13円00銭	未定	12円00銭
配当金総額	115百万円	-	106百万円
効力発生日	2021年6月28日	-	2020年6月26日
配当原資	利益剰余金	-	利益剰余金

(2) 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要な課題と位置づけ、安定的な配当を行う方針に加え、業績に応じた利益配分を行うこととし、原則として当社普通株式1株につき年間24円を下限とし、連結配当性向40%以上とすることを基本方針としております。

当事業年度の親会社株主に帰属する当期純利益の金額から、年間配当については、上記基本方針に基づき、1株につき25円とし、既に中間配当として1株につき12円をお支払いしておりますので、期末配当については、1株につき13円といたしました。

なお、本件につきましては、本年6月25日に開催を予定しております第70回定時株主総会に付議する予定です。

基準日	1株当たり配当金（円）		
	中間	期末	年間
当期実績（予定）	12円00銭	13円00銭	25円00銭
前期実績 (2020年3月期)	12円00銭	12円00銭	24円00銭

3. 中期経営計画の修正について

当社は、企業価値を高め、事業成長を実現するため、「コア領域への集中と変革に向けた新たな企業価値の創造」を中期経営方針とした中期経営計画を策定し、2019年5月17日に公表しております。

3つの基本戦略「付加価値により競争力強化と収益力向上」「新規ビジネスによる収益基盤の創出」「事業構造改革と生産性向上」を軸として達成に向けた諸施策を推進しておりますが、新型コロナウイルス感染拡大による影響により事業の進捗が遅れたグローバルビジネスやオフィス関連市場の減速を考慮し、中期経営計画の最終年度である2022年3月期の数値目標を以下のとおり見直すことといたしました。

項目	現中期経営計画 (2022年3月期)	修正計画 (2022年3月期)
連結売上高	260億円	217億円
連結経常利益	18億円	11億円

なお、新型コロナウイルス感染症拡大等により大きく変化したお客様のニーズや市場の変化を捉え、中期経営計画で掲げている従来の経営方針に加え、DX（デジタルトランスフォーメーション）戦略を更に強化、推進することで、企業価値の向上を図るとともに、持続的な成長を目指してまいります。

以上